

長崎総合科学大学

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月22日

1. 大学名：長崎総合科学大学

2. 認証評価実施年度：平成26年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○改組進行中であるが、総合情報学部総合情報学科の収容定員充足率については改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

平成26年度に設置した総合情報学部総合情報学科（入学定員85人）について、平成26年度から平成28年度までの志願者数、合格者数、入学者数、在籍者数、収容定員、収容定員充足率は以下のとおりである。

収容定員充足率は、平成26年度67.06%、平成27年度70.59%、平成28年度76.86%と改善して来ている。今後も在学生の学士力の向上に努め、学生から「入学してよかった」と思える大学づくりを目指すとともに、大学からの情報発信を積極的に行い、志願者の増加、入学者の定員確保に努める。

入学年度	志願者	合格者	入学者	在籍者	収容定員	収容定員充足率
平成26年度	99人	91人	57人	57人	85人	67.06%
平成27年度	122人	113人	65人	120人	170人	70.59%
平成28年度	142人	119人	82人	196人	255人	76.86%

※ 在籍者は5月1日現在

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

2-1-01 平成26年度学校基本調査 学部学生内訳票 総合情報学部

2-1-02 平成27年度学校基本調査 学部学生内訳票 総合情報学部

2-1-03 平成28年度学校基本調査 学部学生内訳票 総合情報学部

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月22日

1. 大学名：長崎総合科学大学

2. 認証評価実施年度：平成26年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-4

○シラバスでは、適切な成績評価方法と評価基準を統一して示すよう、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-4について

シラバスの記載内容について平成27年7月24日にFDを開催し、その後、教務専門委員会でも検討を重ね、成績評価方法と評価基準を含め全学で内容の統一を図り、平成28年度からは予習・復習についても記入する欄を設けている。また、授業科目担当者がシラバスを作成した後に、所属部署の教務委員が記載内容について再度確認して、二重のチェックを行い公開するようにしている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-4の資料

2-4-01 教務専門委員会議事録（抜粋）

[平成26(2014)年度第9回（12月24日）、第10回（1月27日）]

[平成27(2015)年度第5回（9月14日）、第8回（12月24日）]

2-4-02 シラバスの記入内容について

[平成26(2014)年度第9回教務専門委員会資料1]

2-4-03 シラバスの記入例

[平成26(2014)年度第10回教務専門委員会での要望によるメール配布]

2-4-04 平成27(2015)年度第3回教育研究集会（FD）資料（7月24日）

2-4-05 シラバス（記載例）

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月22日

1. 大学名：長崎総合科学大学

2. 認証評価実施年度：平成26年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

○厳しい財務状況のもと、中長期計画を策定し経営改善の抜本的対策に取り組んでいるところではあるが、財務基盤の確立と収支バランスを確保するために、より厳格な改善方策の策定と実施が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目3-6について

学校法人長崎総合科学大学の平成26年度決算は、資金収支で120百万円の支出超過であったが、平成27年度決算は72百万円の支出超過となり、前年度比47百万円の改善を行った。さらなる収支改善を図るため「経営改善計画(平成28年度～平成32年度)」を策定し、平成28年6月1日に理事会で承認した。この計画で平成28年度に法人全体の資金収支差の黒字化と、できるだけ早い時期に経常収支差の黒字化を目指す。このために、特に学生・生徒募集に全力を注ぎ、大学235名、附属高等学校120名の入学定員の確保に努める。

5. エビデンス(根拠資料)一覧

基準項目3-6の資料

3-6-01 長崎総合科学大学 経営改善計画の概要

3-6-02 学校法人長崎総合科学大学 経営改善計画(平成28年度～平成32年度)